

元気なまちかど

No.1 早く大きく育つてね 子どもたちによる稚アユの放流

朝宮小学校1・2年生の児童と朝宮保育園の園児が、信楽町宮尻にある大宮神社前の桜川で5月17日、稚アユの放流を行いました。

この催しは、放流を通じて稚アユの成長を見守るとともに、河川愛護の大切さを知ってもらおうと、宮尻地区が毎年行っているものです。

子どもたちは勢いよくバケツの中で跳ねる稚アユに驚きながらも、「早く大きくなってね」と声をかけながら約1,000匹の稚アユを川に放しました。



▲稚アユを川へ放流する子どもたち

No.2 土山茶ゼリーを園児に 甲賀七彩ものがたり研究会・更生保護女性会

食文化を伝える活動を行う「甲賀七彩ものがたり研究会」と更生保護女性会のメンバーが5月17日、手作りの土山茶入りの「チャチャゼリー」を園児にプレゼントしました。

この活動は、幼いころから地元の味に親んでもらおうと、20年以上も続いており、食材には土山茶のほか、地元産の牛乳やイチゴが使われています。この日は250個を作り、土山にこここ園と大野保育園に届けられました。

子どもたちは、彩りのきれいなゼリーに喜び、「甘くておいしい」と頬張っていました。



▲チャチャゼリーを味わう園児たち（土山にこここ園）

No.3 「黒影米」と「にんじゃえもん」で楽しい給食 ふるさと食材給食で食育推進

市内小中学校で5月17日から3日間、食育推進の一環として、甲賀ブランドにも認定されている「黒影米」を使ったごはんなど、地元食材を使用したふるさと献立給食が提供されました。

初日の甲南中部小学校1年生の教室には、黒影米にゆかりのある甲賀市観光協会・商工会のキャラクター「にんじゃえもん」が登場し、突如の訪問に児童たちは大喜びでした。

黒影米の生産者である青木勝美さんから黒影米の説明もあり、児童たちは「ごはんがもちもちしておいしい」と楽しんで味わっていました。



▲「黒影米」ごはんをおいしそうに食べる児童

No.4 責任ある社会人をめざして 新就職者激励会

市内の企業・事業所に新しく就職した方を対象とした、新就職者激励会が5月20日、碧水ホールで開催され、40社から194人が参加しました。

中嶋市長からの激励の言葉の後、新就職者を代表し、大原薬品工業株式会社の伊藤友二さんが、「責任ある行動がとれる立派な社会人となり、甲賀市の経済の発展、未来に貢献できるよう励んでいきたい」と決意を述べました。

その後、ファイナンシャル・プランナーの加藤恵子さんによるライフプランセミナーが行われ、参加者はこれからの生活に役立てようと熱心に聞き入っていました。



▲中嶋市長と握手を交わす新就職者代表の伊藤さん

No.5 都市部の中学生が農村生活を体験 都市農村交流事業

市が実施する都市農村交流事業として、5月から兵庫県や神奈川県などの中学生が市内を訪れ、農村生活を体験しています。

甲南町杉谷では5月21日、海老名市立大谷中学校の生徒4人が畑のマルチシート張りやトウガラシの苗植えなどに挑戦しました。

初めての体験に最初は不安そうでしたが、受入家庭の指導を受けて、最後は慣れた手つきで作業を行っていました。

豊かな自然の中、農作業とおした受入家庭との交流は、生徒たちにとって貴重な経験となったようです。



▲マルチシート張りを体験する生徒

No.6 住みやすいまちづくりへの力にかふか21子ども未来会議 子ども議員任命式

今年度の「かふか21子ども未来会議」の子ども議員23人の任命式が5月21日、市役所で行われ、一人ひとりに中嶋市長から任命書が手渡されました。

今年で6回目となるこの会議は、未来を担う子どもたちが自ら考え行動する力を引き出す機会として開催されています。

子ども議員たちは、約半年かけて市の伝統・歴史・文化・産業などについて学び、来年1月の子ども議会で、より住みやすいまちにするためのアイデアを提案する予定です。



▲任命を受けた23人の子ども議員たち